

小中一貫教育大目標

「21世紀をたくましく生き抜く力の育成」

《めざす子ども像》

主体性

主体的に学びに向かう子ども

社会性

社会の一員として自己の責任を果たす子ども

実践力

未来に向けて夢や志をもち
実現に向けて実践する子ども

九年間の学び／九条学習プラン

九年間の育ち／九条生活プラン

〈今年度の重点目標〉

九条中ブロックのベクトルを揃え、校種を超えた一貫性のある教育活動の更なる推進につなげる。

●「研究テーマ」

キャリア教育の視点で自校・小小・小中の教育活動をつなぎ、目指す児童生徒の姿に向けて九条中ブロックのベクトルを揃え、校種を超えた一貫性のある教育活動のあり方についての研究。

【研究仮説】

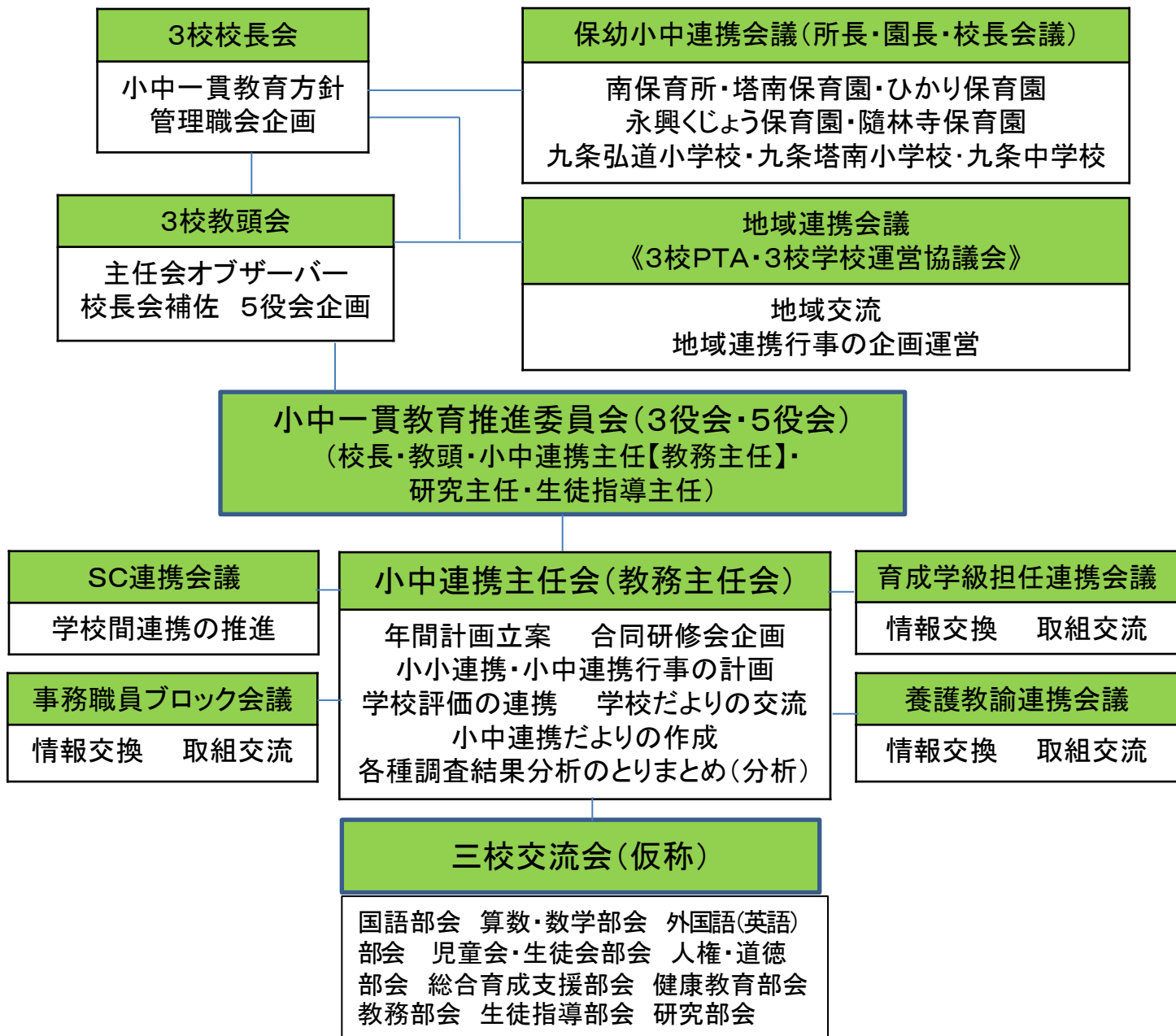
キャリア教育が掲げる基礎的・汎用的能力等を掲げ、教科・領域、学校、校種間を資質・能力でつなぐことで、さらなる一貫性のある教育活動が実践され、児童生徒の「主体性」の育成と「学びの活用と深化」を図ることができる。

“子どもは地域で育つ”

3校合同学校運営協議会を核として

- 地域の人材や教育力を活用し教育の充実を図る
- 地域との連携・協働を進め9年間の成長をより確かなものとする
- ★保幼小中連携会議：保育園保育所と連携し、地域ぐるみの子育てを目指す

九条中ブロック 小中一貫教育推進組織図



九条中ブロック合同学校運営協議会

- 九条弘道小学校運営協議会
- 九条塔南小学校運営協議会
- 九条中学校運営協議会

九条生活プラン

子どもたちが自己実現を確立していくためには、「自尊感情」「自己有用感」等を高めていくことが重要であり、学校教育の中でこれらを支える力を育成していくことが必要である。その力をそだてる場面はどこなのかを学校教育生徒指導の面から考えていくと、「あいさつ」「そうじ」「時間」「聞く」「話す」といった学校生活の基本に辿り着く。

九条中学校区3校で共通した生徒指導を推進していくために、九条生活プランの「生徒指導の基本」をもとに、子どもたちの自己実現の確立に向けて教育活動を充実させていくことが大切である。

【生徒指導の基本】

- ◆適切なあいさつ・言葉遣い → 礼儀・道徳心
- ◆そうじ → 責任感・協力性・協調性・勤労奉仕
- ◆時間を守る → 判断力・計画性
- ◆人の話を聞く → 傾聴力・他者理解
- ◆自分の考えを話す → コミュニケーション能力



自尊感情
自己肯定感
自己有用感
共感的他者理解

九条学習プラン

確かな学力の向上を図るためには、学校において、支え合い

高め合う集団づくりを行うとともに、子どもたちが落ち着いて学習に集中することができる環境づくりに取り組むことが必要である。そのためには、学びの基盤となる学習規律を子どもたちに身につけさせることが大切である。

九条学習プランには、小中学校9年間で身につけるべき学習規律を具体的な子どもの姿で表記してある。これらの学習規律は、子どもたちが守るべきものであると同時に、教職員自らが守るべきものである。また、家庭と連携する中でその定着を図るべきものであることから、九条中学校区3校においては、この九条学習プランを全学級で日常的に指導するとともに家庭への周知も図るようにする。

さらには、各項目の意義や価値を大人も子どももとらえられるよう共通理解を図り、全教職員で意図的・計画的な指導を行うことで、その定着を図るものとする。

【九条学習プランの内容項目】

- ◆学習の基本…学習に向かう姿勢
- ◆学習スキル…相手を意識した話し方・聞き方・読み方・見やすく分かりやすいノートづくり
- ◆家庭学習…自学自習の姿

九条中ブロック 小中一貫教育における取組

小中合同体験活動

- ・読み聞かせの会(中1と小1)
- ・施設利用授業体験(小6)
- ・合唱コンクール(中学生と小6)
- ・中学校体験
- ・部活動体験(中学生と小6)、
- ・生徒会・児童会交流
- ・ポスターセッション発表会(中1発表・小5参加)
- ・校内図工展



小中合同行事

- ・小中合同研修会
- ・三校部会
- ・授業交流
- ・合同授業研究会
- ・小中連絡会
- ・九条計算検定(小中一貫カリキュラム算数・数学編)
- ・小中5役会(校長会・教頭会・教務主任会・研究主任会・生徒指導主任会)

